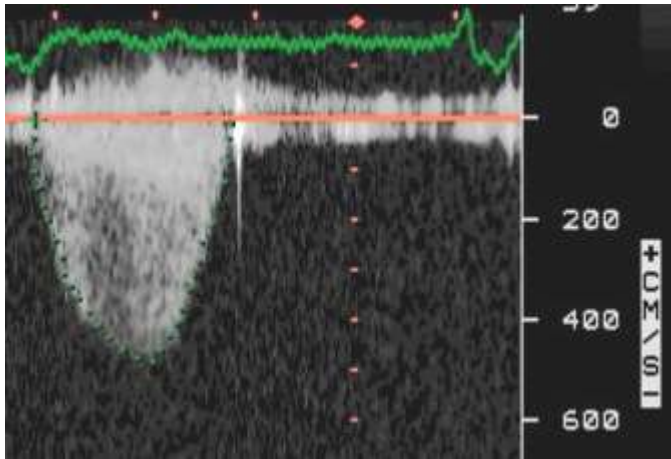


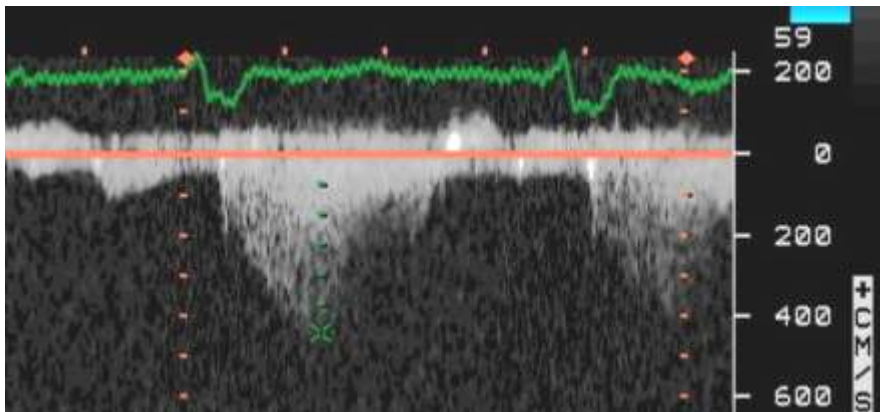
問 24. 図は肺動脈弁狭窄症患者の連続波ドップラーによる肺動脈弁通過血流速度である  
正しいものはどれか

- a. 肺動脈弁の部分の圧較差は 88mmHg である
- b. 推定右室収縮期圧は右房圧を 10mmHg と仮定すると 91mmHg である
- c. 肺動脈本幹内の収縮期圧は 91mmHg である
- d. 算出した肺動脈収縮期圧についてのみ言えば肺高血圧症 (PH) は高度である
- e. 算出した肺動脈収縮期圧についてのみ言えば肺高血圧症 (PH) はなさそうである

- (1) a,b,c    (2) a,b,e    (3) a,d,e    (4) b,c,d    (5) c,d,e



←Fig1.  
肺動脈弁通過血流波形  
Vmax=4.7m/s 、PG=88mmHg



←Fig2.  
三尖弁逆流波形  
Vmax=4.5m/s、PG=81mmHg

問 39. 下図は傍胸骨短軸像である、誤りはどれか

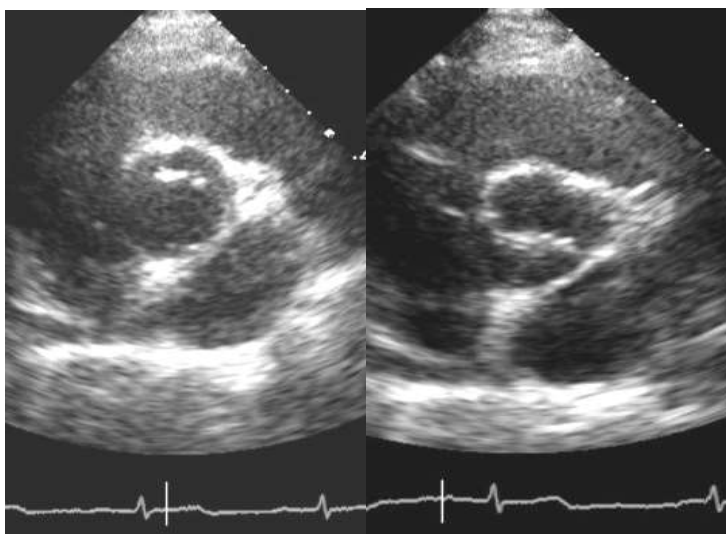


Fig.13

- a. 長軸では弁尖はドーミングを認めることが多い
- b. 大動脈2尖弁でほぼ水平に開放している
- c. 弁の器質化は見られない
- d. 大動脈弁は3尖認める
- e. VSD など先天性心疾患の検索を丹念に行う

(1) a,b (2) a,e (3) b,c (4) c,d (5) d,e